

	三重大学 学際分野
学部等の教育研究 組織の名称	地域イノベーション学研究科 (M:10名、D:5名)
沿 革	昭和 24 (1949) 年 三重大学設置 平成 21 (2009) 年 地域イノベーション学研究科設置
設 置 目 的 等	平成 21 (2009) 年に、地方産業界が求める即戦力型人材であるプロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材の育成に特化した教育・研究を展開することにより、高度な専門知識及び応用能力を持ち、創造性豊かな研究開発活動を進める高度専門職業人及び研究者を養成し、地域社会の将来を担う中核人材を育成するとともに、地方立脚型の企業が抱えている成長障害要因の克服に必要な学際的研究を実施し、その成果を社会に還元することを目的として、地域イノベーション学研究科を設置した。
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>三重大学における学際的な融合分野においては、真理の探究を図るとともに、地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】</p> <p>○ 学際的な融合分野の教育研究を通じて、高度な研究開発能力や自ら課題を解決するマネジメント能力を有し、地域社会の将来を担う中核人材となる、高度専門職業人・研究者を養成する。</p> <p>○ このため、プロジェクト・マネジメント能力を指導する教員と基礎研究能力を指導する教員の複数教員の研究指導（サンドイッチ方式教育）や地域企業との共同研究プロジェクト（OPT（On the Project Training）型教育）、インターンシップ研修等を実施している。</p> <p>○ これらの取組を通じて、博士前期課程では、研究科設置以来全ての年度において就職率が 100 %であり、このうち約 70%が三重地域圏に就職している。また、修了生の約 80%を工学系及びバイオサイエンス系企業に輩出している。</p>

- 今後、カリキュラムの変更により英語教育の強化に取り組む等、社会人を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

また、社会科学的な観点を併せて備えた人材を養成するため、博士後期課程について、教育研究ユニットの改編等により文理融合型教育の充実を図る。

【研究】

- 地域産業の特徴に鑑みた「食と健康」や「環境・次世代エネルギー」に関する分野における研究実績をいかし、異分野の教員の研究交流によるイノベーション創発や地域圏企業との共同研究プロジェクトにより、地域社会や産業界の課題解決に組織的に取り組んでいる。
- これらの取組を通じて、リン酸含量を低下させた健康に良い野菜の開発や新規なる過膜を用いた水質浄化装置の開発につながるとともに、電力節減につながるスマートキャンパスの実現に向けた取組が第 22 回地球環境大賞文部科学大臣賞を受賞している。
- 今後、文理融合研究を促進し、イノベーション創発を促進させる組織体制の充実を図り、組織的に研究を推進するとともに、地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 博士後期課程入学者の大半が地域企業の経営者や役員を中心とした社会人学生であり、社会人の学び直し機能を有するとともに、研究成果を地域に還元し、地域のイノベーション創発に貢献している。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18 歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、大学院の教育課程及び組織のあり方、規模等の見直しに取り組む。